

ベースユニット、センサー、アクセサリ

詳しい説明はベースユニットに収められています。メニューボタンを押して、[ヘルプ]を選択してください。

RAYSAFE VIEW

RaySafe Viewに関するヘルプは、プログラムの [ヘルプ] メニューからアクセスできます。

キャリブレーション日

センサーのキャリブレーションラベルを見るか、ホーム画面から右にスワイプして [i] 記号を押すと、接続されているセンサーをキャリブレーションした日付が分かります。

測定仕様

単一のパラメータの詳細を見たい場合は、そのパラメータを右にスワイプすると測定仕様が表示されます。測定器の完全な仕様については、[www.raysafe.com](http://www.raysafe.com)をご覧ください。

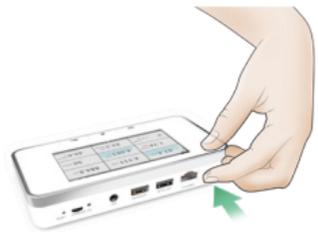
テクニカルサポート

ご不明な点がございましたら、お気軽にサポートチームまでお問い合わせください。お問い合わせ先については、[www.raysafe.com](http://www.raysafe.com)をご覧ください。

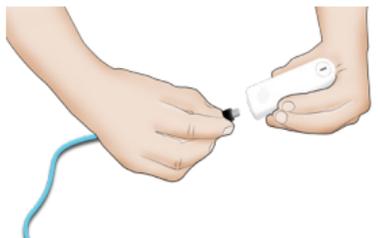
# RaySafe X2

## 使用開始

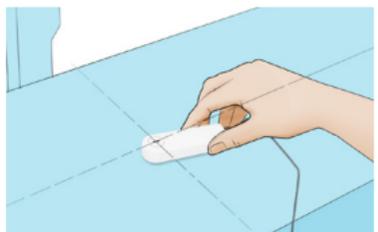
注意！ ベースユニットの言語を変更するには、ホーム画面を右にスワイプして [X2ベースユニット] を押し、言語を選択してください。



ベースユニットをオンにする



センサーを接続する



位置付けして照射する

## ベースユニットの操作



メニュー ホーム 戻る



電源

電源ボタンを短く押すと、スリープモードに入ります。スリープモードでしばらく時間が経過すると、ベースユニットは自動的にオフになります。

2秒間ボタンを押すと、直ちにベースユニットがオフになります。



画面を横にスワイプすると、さまざまな表示内容にアクセスできます。

上下にスワイプすると、複数の測定データをスクロールできます。



一つのパラメータ表示部をタップすると、そのパラメータの測定値が拡大表示されます。右にスワイプすると測定仕様を含むパラメータ情報が表示され、左にスワイプすると現在のパラメータの波形が (利用可能な場合) 表示されます。

## RAYSAFE VIEW



RaySafe Viewを実行しているコンピュータに接続すると、下記が行えます。

- 測定器のリモートコントロール
- 測定データと波形の表示 解析
- 測定ファイルの保存 バックアップ
- Microsoft Excelまたはその他のソフトウェアへのデータ転送